

立ち仕事が多いせいか、足がむくんで困っています。下肢静脈瘤と関係あるでしょうか。

岡山市 32歳 会社員

一般に静脈による足のむくみの特徴は、季節では夏に強く、1日では夕方**に強く**、足を上げると軽くなることです。夕方だけ足首に見られる場合、午後になると足首の上までむくむ場合、重症になると朝でもむくみが取れない場合があります。

この原因は、足の血液が心臓に帰ることができないうっ血です。ふくらはぎの筋肉は足の血液を心臓へ送り込むために重要な働きをしています。じっと立っていると足の静脈圧は80mmHg以上にもなります。歩行など運動を行うと、ふくらはぎの筋の収縮力が200mmHg以上になるので、筋肉内の静脈を圧迫し立っても血液を心臓へ送ることができます。この時、血液を心臓の方向だけに送り込むために静脈には弁があります。

ところが、ご質問のように立ち仕事が多くなると足の静脈圧が高くなり、静脈の弁が壊れてしまうことがよくあります。そうになると運動しても血液が効率的に心臓へ送られなくなり、うっ血によるむくみが生じます。このような状態は、血管のコブは見られませんが下肢静脈瘤と同じ状態です。放置すれば皮膚が厚く硬くなつて茶褐色の色が付き、痛みや痒み、こむら返りなどをはじめとしたいろいろな症状が現れます。ぜひ一度、足の静脈の専門医で相談されたらよいでしょう。



回答医師

諸國 眞太郎 先生

Profile

医療法人操仁会 岡山第一病院 院長
1981年岡山大学医学部卒業、同第二外科に入局。1994年岡山大学附属病院講師。末梢動脈疾患、下肢静脈瘤など血管外科に携わる。2000年より現職。「下肢静脈瘤日帰りセンター」「Vascular Lab」に積極的に取り組んでいる。

岡山市高屋343 TEL.086-272-4088
URL: <http://www.okayama-daiichi.jp>
e-mail: info@okayama-daiichi.jp